

	<b>喜劇役者 伊東四朗が語る！ オンライントーク「ねりま映画サロン」第4弾配信開始！</b>		
公開日	令和4年12月9日（金）	公開URL	<a href="https://nerima-eizobunka.com">https://nerima-eizobunka.com</a>
<p>9日（金）、区は、練馬区が誇る映像文化の魅力を区内外に発信する特設ホームページ「映像∞文化のまち ねりま」の企画として、日本を代表する俳優が映画を語る「ねりま映画サロン」第4弾の配信を開始した。</p> <p>動画には、喜劇役者の伊東四朗さんに出演いただき、青春時代の思い出の作品や俳優、テレビ演芸の売れっ子となつてんぷくトリオ時代や演出家とのエピソードについて話を伺った。</p> <p>昭和初期から続く映像文化と繋がり深い練馬区ならではのまちづくり「映像∞文化のまち構想」に基づく取組であり、今後は、映画やアニメ、令和5年にとしまえん跡地に開設されるワーナーブラザースのスタジオツアー施設など、区の映像文化資源を活かしたイベント等を実施していく。</p>			

毒蝮三太夫氏（左）、伊東四朗（中）、  
山川静夫氏（右）の対談の様子

### 【特設ホームページ『映像∞文化のまち ねりま』】

練馬ゆかりの俳優による対談動画「ねりま映画サロン」、練馬と映像文化の関わりを紹介する連続インタビュー企画「ねりま映画人インタビュー」など、映像制作の第一線で活躍する方々に関するコンテンツを公開している。今後は、「映像∞文化のまち構想」の関連イベント情報など幅広い情報を発信していく。

### 【『映像∞文化のまち構想』】

区には、昭和7年（1932年）に向山（豊島園）に不二映画撮影所が設立されて以降、実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っており、数多くの優れた映像作品がこの練馬の地からつくり出されてきた。区は、こうした状況を背景に、令和3年11月に「映像∞文化のまち構想」を策定し、映画やアニメなどの映像文化を活かした、ソフト・ハードが一体となった夢のあるまちづくりを進めている。

【区HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keikaku/shisaku/sonota/20211202.html>

### 【参考】出演者プロフィール

#### 伊東 四朗（いとう しろう）氏

昭和12年生まれ、東京都出身。昭和33年石井均一座でデビュー。昭和37年にてんぷくトリオを結成。40年にテレビ「九ちゃん！」のレギュラーに抜擢され、お茶の間の人気者に。「おしん」をはじめテレビドラマ史に残る作品やバラエティ番組に出演。映画、舞台、ラジオ、CMと幅広く活躍。

#### 毒蝮 三太夫（どくまむし さんだゆう）氏

昭和11年生まれ、東京都品川区出身。昭和34年に日本大学芸術学部映画学科を卒業。「ウルトラマン」「ウルトラセブン」の隊員役で人気を博す。

#### 山川 静夫（やまかわ しずお）氏

昭和8年生まれ、静岡県出身。昭和31年アナウンサーとしてNHKに入局。「紅白歌合戦」の司会を通算13回務めるなどNHKの顔として活躍。

【問い合わせ】練馬区 文化・生涯学習課 文化芸術担当係 電話：03-5984-1358